



令和元年8月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 伊豆分場新施設完成

平成29年12月に開始した現地建替工事により新庁舎が平成30年10月に完成したことを55号でお伝えしました。その後のポンプ棟、飼育施設等のⅡ期工事も順調に施工され、いよいよ8月上旬に完成、引渡しが行われます。

8月下旬以降は場内駐車場が利用可能になります。また、1学級規模の生徒さんが入室可能な展示室が常設されていますので、伊豆の漁業や水産生物のことを知りたい人は是非、お越しください(土日・祭日は閉鎖)。

当施設で実際に魚介類を飼育するためにはまだ分場職員の手で作業を行わなければならない箇所もありますが、白浜で獲れる魚介類を外池の一部で飼育、展示する予定です。



ドローンで撮影した分場施設全景  
(青く見えるのは飼育池)

### マダイ中間育成終了 放流へ

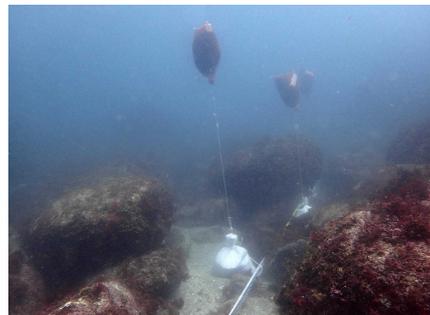
6月上旬から約40日の中間育成を行ったマダイが、放流に適した大きさである60mmを超えたため、7月18日に網代、7月24日に田子で、計数作業が行われ、放流するマダイ稚魚の尾数が調べられました。網代では中間育成中に赤潮および病気の被害を受けましたが、生残率は75%、また田子も84%と、2年連続で目標値(70%)を上回る結果となりました。これらのマダイは、伊豆の各地先で、放流適地である港内へと放流されます。



↑ 田子の計数作業の様子

### 稲取でテングサ スポアバッグ試験

稲取地区ではかつて有数のテングサ藻場がありましたが、近年は雑海藻が繁茂し漁場としての価値が失われています。そこで、平成27年度より雑藻刈によるテングサ藻場の回復事業が伊豆漁協稲取支所によって行われてきました。このほど、テングサの回復スピードを速めるために、雑藻刈を行った場所でスポアバッグ試験を行いました。スポアバッグとは胞子を放出する成熟した母藻を玉ねぎ袋などに入れ、海中に設置し、胞子からの藻場拡大を目的とするものです。この効果を含めて、藻場の状況をモニタリングしていきます。



↑ スポアバッグの設置状況

**8月の予定** ●キンメダイ種苗生産研究のために親魚捕獲、船上授精を行います。 ●県調査船駿河丸によるキンメダイを食害するサメの捕獲調査が19~20日に行われます。 ●夏~秋の定置網漁海況予測を発表します。 ●フェリーを利用した西伊豆産水産物の静清地区への試験流通を実施します。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>